

国語授業シラバス

科目名	単位数(標準単位)	学科・学年・学級
現代文B	2単位(4)	芸術科・3年・6組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	①近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。(読むこと) ②国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力を伸ばし心情豊かにし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。(話すこと・聞くこと・書くこと)		
使用教科書・副教材等	筑摩書房「精選現代文 B 改訂版」浜島書店「巻頭増補最新国語便覧」/その他(大学入学共通テスト対策問題集等)	学習形態	一斉授業

2 学習計画

学期	月	学習項目(単元名等)	学習内容	評価の観点 評価規準	備考	考查
1 学期	4	オリエンテーション	一年間の現代文学習を確認する。			中間 考查
		1 評論 1 「自然を守る」ということ	従来の自然保護観に対して、筆者の考える自然と人間関係について話し合い理解する。	[読・話]生徒自身の自然観と「従来の視点」「筆者の観点」を比較し、話し合いを通して理解を深めている。		
	5	2 小説 1 急須	主人公および、主人公の相似形ともいえるお茶屋の主人の「人生の迷路」「自分探し」という側面から主題を探る。	[読]登場人物の思考や心理をたどり、作品世界を想像するとともに味わっている。		期末 考查
		3 評論 2 日本文化私観	散文の精神と美の関係について理解し、筆者の美に関する考え方について話し合い理解する。	[読・話]当時の時代背景などを調べ、話し合いながら筆者の主張を読み取っている。		
	6	4 小説 2 舞姫 羅針盤②「舞姫」と近代小説の誕生	大田豊太郎の考え方や行動について、どのように考えるか、時代背景なども踏まえて話し合う。	[読・話]豊太郎の考え方や行動が、明治という時代と関係しているということを理解し、話し合っている。		中間 考查
7	5 評論 3 物語としての自己	「自己を物語る」という行為は現在の自分についての自己解釈であることを理解し、他者との関係性の変化の度に「自己」が変化することも理解する。	[読・話]論理展開を把握し、自分とは何かということを手問しながら筆者の主張を読み取っている。身近な例に接し、話し合うことで視野を広げる。		中間 考查	
2 学期	9	6 評論 4 陰翳礼讃	実際に体験したことのない時代の日本文化について、調査し、理解しながら筆者の感覚を捉える。	[読・話]日本文化論的な「陰翳」の効用を話し合い、考えを深めている。普段の生活に発見できる「陰翳」の美を発表している。		期末 考查
		7 評論 5 死と向き合う	「死」に対するさまざまな向き合い方について、また「人間の生き方」について主張する筆者の考えを読み取る。	[関・読・書]自分の問題としてとらえ、現代社会で「死」がどのように扱われているか事例を挙げて考えてまとめている。		
	11 12	評論長文読解 小説長文読解	様々なタイプの長文を読むことを通して、評論や小説の読解力を高める。	[読]語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、読み取っている。 [知]読むことに必要な文の組立て、文章の組立て、語句の意味、語句の用法について理解している。		期末 考查
		1 2				
【年間の評価】 ・定期考查の成績、課題提出物の提出状況や内容、発表等の取り組みを勘案して評価します。 ・全学年共通課題として、「意見文」と「読書感想文」があります。						